

稲刈りが終わったほ場から 速やかに排水対策を行いましょう！

麦の栽培において排水対策は最も重要な技術です。湿害を回避することが収量・品質向上のポイントとなります。排水対策の徹底により、麦の出芽や生育が良くなり、除草剤や肥料の効果も高まります。

1 まずは、ほ場周辺の溝掘りから

水稻の収穫後は、天候や土壌状態を確認し、排水溝（明きょ）を設置し、雨水が流れるようにしましょう。

ただし、ほ場が乾くまでに作業すると、ほ場を荒らすこととなります。排水が悪い場合は、中干しの溝を補修するなど排水を促し、ほ場が乾いてから作業しましょう。



オーガ式溝掘機などで
しっかりと掘る

2 排水溝はつなぎ、補助暗きょも設置しましょう！

設置した溝（明きょ）は、つなぎ目をしっかりつなぎ、水口から水尻に排水するようにしましょう。あわせて、弾丸暗きょなどで補助暗きょを設置して溝（明きょ）とつなぐことや、サブソイラー等による心土破碎を実施することで排水性が向上します。



つなぎ目はしっかりつなぐ！ 弾丸暗きょは明きょとつなぐ！ 心土破碎で排水性向上！